



RACDA 会長 岡 将男

吉備線は明治37年11月15日に開通し、今月ちょうど100周年になります。昨年2月、JR西日本はこの吉備線と富山港線のLRT化を発表しました。富山港線では今年「富山ライトレール」として第3セクターの鉄道会社が発足し、2006年にはLRT化します。富山駅周辺では、北陸新幹線建設に伴う連続立体交差事業が始まりますが、大赤字の富山港線を、あえて立体にせず、そのお金でLRT化して、もっと便利に使ってもらおうというわけです。吉備線の場合も、三門駅のところで岡山市の中環状道路を高架でまたぐ事業が、既に都市計画決定されており、工事直前になっていました。しかしこれでは吉備線は今より便利にならず、それで90億円という大きな費用がかかります。道路事業ですから、今話題の道路特定財源が使われますが、私たちの税金もたくさん使われます。吉備線のLRT化というのは、この事業を見直して、かわりに吉備線をLRT化して便利にしようというものです。90億円あれば、吉備線を電化して、今岡山の町を走っている

■吉備線LRT化でどうなるの?■



路線図 松田和也

● MOMOを走らせることができます。MOMOは加速がよく、吉備線の駅を今の倍に増やしても、今より早く走れます。駅が増えれば利用者も便利になりますね。また、今までの3倍の坂も登れ、たとえば備前三門駅高架でも短くでき、安くつきます。● 富山港線では将来、現在の富山の市電と結ぶことを計画しています。吉備線の場合も、レールの幅は岡山市内の路面電車と一緒にですから、将来的に乗り入れることができます。岡山駅の西口から、今建設中のデジタルミュージアムや、ままかりフォーラムの前を通過して、新幹線の下をくぐり、岡山駅前の路面電車につな

● ぐことができるのです。実はMOMOは吉備線に乗り入れることを想定して作られています。そしてMOMOタイプの電車が7輛、富山港線を走る予定です。つまり岡山をモデルに日本で初めてのLRTが富山で走り始めるのです。吉備線沿線では、岡山の都心に直通できますし道路渋滞も減りますから、バイパス整備も不要になるかも。環境にもすごくいいですね。● 世界で1978年以来80都市でLRTの建設がされています。LRTは税金の上手な使い方として、今世界で注目されている交通システムなのです。



RACDA かわら版連載コーナー
「ぼっけえ便利なバスマップ」の
小さな旅



▲ 写真③ 最上稲荷の大鳥居と、この下を通過する稲荷山行中



▲ 写真① かつての大井終点・現在の終点は少し奥



▲ 写真② 大井(旧終点)待合所内にあった「営業路線図」



特集：岡山～大井線 & 岡山～高松経由稲荷山線

リポート&写真/石井 孝幸 (RACDA 幹事)
路線図 / 松田 和也 (RACDA 幹事)

こんにちは。「ぼっけえ便利なバスマップの小さな旅」二回目の今回は、吉備線特集にちなみ、中鉄バスの「岡山～大井線」と「岡山～高松経由稲荷山線」を取り上げます。

両路線とも、古くから運行している歴史ある路線です。まずは「岡山～大井線」から紹介します。

この路線は、岡山中鉄 BC から岡山駅を経て、国道180号線をひたすら総社方面へ走って行きます。一宮、吉備津神社参道口、稲荷参道口を通過して、吉備高原都市へ向かう国道429号に入らず、「大井川」停留所から足守川に沿って北上し、吉備線の足守駅を通過します。その後は、足守の町中を抜けて行きますが、昔からの町並みで道が狭く、足守藩侍屋敷や足守プラザ、緒方洪庵の誕

生地などを訪れる観光客に行く手を阻まれることもあるそうです。そして国道429号に合流し、大井小学校前にある「大井」停留所で終点となります。なお、平成14年9月末までは、足守商工会の看板が掛かっている建物(写真1参照)が「大井」終点で、建物内に待合所などがありました。写真2は、待合所内に掲示してあった「営業路線図」です。中鉄バスの前身の「中国鉄道」時代から掲示されていました。少なくとも40年近くは使っていたでしょう。なお、この路線図は2年前に撮影したもので、現在はありません。続いて、「岡山～高松経由稲荷山線」です。この路線も、先の「岡山～大井線」と同様、国道180号線をひたすら

総社方面へ走って行きます。一宮、吉備津神社参道口、稲荷参道口まで同一経路で、ここから吉備線の踏切を超えて稲荷山へ向かいます。踏切を超えたら、最上稲荷の大鳥居をくぐります(写真3参照)。ここからしばらく北上すると最上稲荷の大駐車場があります。この一角に終点の「稲荷山」停留所があります。なお、「岡山～稲荷山線」には、ほかに「大窪経由」もあります。また、正月三が日には、大鳥居下から稲荷山まで列車に合わせてピストン輸送をしています。 ※この2路線についてのお問い合わせ(時刻・運賃など)は、中鉄バス(TEL 086-222-6601)へお願いします。